平成２９年度　重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

○挨拶（児童生徒）
　児童生徒が、自分なりの表現で教職員や友達等に朝の挨拶をしようとする。
　　アンケート調査９０％以上
○授業改善（教員）
　児童生徒のキャリア発達を促すための授業改善に取り組み、改訂版「こまどり版４つの力」を意識しながら一人１実践をまとめる。

前年度

前年度の取組「児童生徒が、自分なりの表現で朝の挨拶をしようとする」は目標を達成することができた。そこで今年度は、児童生徒の実態に応じて挨拶する相手を広げ、友達や来校者にも挨拶ができるように取り組みたい。「児童生徒のキャリア発達を促すための授業改善に取り組み、こまどり版４つの力を意識しながら一人１実践をまとめる」については、一人１実践をまとめることはできたが、キャリア発達を促す視点を取り入れた指導・支援の工夫については教員の評価が低かった。そこで今年度は、見直した改訂版「こまどり版４つの力」を活用し、よりねらいを明確にし、指導・支援の工夫を行う授業改善に取り組みたい。

行動Ⅰ

挨拶（児童生徒）
自分なりの表現で教職員や友達等に朝の挨拶をしようとする。

①児童生徒自身がどんな挨拶をするのかが分かる具体的な目標設定
　例：朝の挨拶では、先生や友達に自分から挨拶する。
②毎朝、全教員が玄関で児童生徒を出迎え挨拶する。児童生徒間の挨拶を促し、目標が達成されたら大いに褒める。
③児童生徒会で挨拶運動を実施する。
④交流学習等で来校した地域の方や小・中学校の友達に進んで挨拶する。

授業改善（教員）
児童生徒のキャリア発達を促すための授業改善に取り組み、改訂版「こまどり版４つの力」を意識しながら一人１実践をまとめる。
①PDCAサイクルを取り入れたビフォーアフターの授業研究の実践
　Ｐ…ねらいの明確化
　　改訂版「こまどり版４つの力」の活用
　Ｄ…授業実践（ビフォー）
　Ｃ…指導・支援の在り方の点検、工夫
　Ａ…授業改善（アフター）
②一人１実践をまとめる
③グループでの授業研究（年間１回以上）
　・授業改善シートの活用
　・ビデオ、付箋を活用した事後検討会

中間評価

中間評価
・教師の手立てについて評価する。
・児童生徒の達成状況を評価する。
　◎ほぼ確実に見られる　　○その様子がよく見られる
　△できるときとできないときがある　　▲芽生えが見られる
・授業改善に向けた計画を見直し、評価する。

行動Ⅱ

挨拶

①～④を継続

授業改善

①～③を継続

年度末評価

年度末評価
・児童生徒の達成状況を評価する。
・教員に対し学校評価の項目として評価する。
・評価結果を保護者向け案内で公開し、学校評議員会で結果を示す。

次年度

・指導・支援の成果と課題を明確にして、次年度の重点目標と達成目標を設定する。